

一般社団法人 電波産業会

Association of Radio Industries and Businesses

No.978 2015年5月18日

5月15日~6月15日は「情報通信月間」です

期間中は、「スマート・ジャパン、拡げよう可能性、創ろう未来」をテーマに、情報通信の普及・振興を図ることを目的として、「記念中央式典」をはじめ、全国各地で情報通信に関する様々な行事が開催されます。ARIBでも情報通信月間行事として本年も「電波の日記念講演会(5月25日)<Webにて申込受付中>」、「周波数資源開発シンポジウム2015(7月10日)」を開催します。

ARIBからのお知らせ [

情報通信月間「電波の日記念講演会」5月25日開催

ARIB ニュース No.975 で既にお知らせしましたが、一般社団法人電波産業会では、総務省のご後援を得て、情報通信月間参加行事「電波の日記念講演会」を下記のとおり開催いたします。 講演会では、「電波利用の現状と今後の展望」をテーマにして、総務省並びに電気通信事業者、放送事業者及び無線機器製造業者の各分野のトップの方々を講師にお迎えして、それぞれのお立場でご講演を頂きます。

残席が少なくなってきましたので、参加ご希望の方は早めにお申込みお願いします。

記

1 日時 : 2015年5月25日(月)13:10から16:00まで(開場12:40)

2 開催場所: 明治記念館 蓬莱の間 (http://www.meijikinenkan.gr.jp/)

東京都港区元赤坂 2-2-23 電話: (03) 3403-1171

3 実施機関: 主催 一般社団法人電波産業会

情報通信月間推進協議会

後援 総務省

4 講演・講師:

(1) 総務省

基調講演 2020 年代に向けた新たな電波利用と今後の展望について

総合通信基盤局長 吉良 裕臣 氏

(2) 電気通信事業者

モバイルインターネットの進化とソフトバンクの新たな取り組み ソフトバンクモバイル株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 宮内 謙 氏

(3) 放送事業者

次世代放送技術で変わること、変わらないこと

~有料放送の可能性~

株式会社 WOWOW

代表取締役社長

和崎 信哉 氏

(4) 無線機器製造業者

モータースポーツで培った技術がもたらす安心・安全と快適・感動

~無線技術とカーオプトロニクスを考える~

株式会社 JVC ケンウッド

代表取締役社長 兼 COO 辻 孝夫 氏

5 参加者 : 電波利用に関係ある方々及び電波利用に関心のある一般の方々 250名

6 参加費 : 無料(事前登録制)

7 申込み先: 当会 Web サイト(<u>http://www.arib.or.jp/</u>)「講演会等開催案内」から参加登録

8 問合せ先: 一般社団法人電波産業会 企画国際部 尾崎、雨宮

電話: 03-5510-8592 E-mail: <u>denpanohi2015@arib.or.jp</u>

aribomi =

第 14 回日中韓情報通信標準化会議の概要 (14th CJK IT Standards Meeting)

情報通信分野の一層の発展に向けて、日中韓三カ国の情報通信標準化機関 (SDO)の相互協力をより積極的に推進することを目的として、2002 年に「日中韓情報通信標準化会議(CJK IT Standards Meeting)」が設立されました。

その第 14 回会合 (CJK-14)が、2015 年 5 月 11 日から 13 日まで、日中韓の 4 SDO (ARIB、 CCSA*、TTA*及び TTC*) から総勢 78 名が参加 (ARIB からは佐藤常務理事を団長に 21 名の参加) し、札幌で開催されました。

今会合では、第 14 回全体会合のほか、第 42 回 IMT* WG、第 9 回 WPT* WG などの WG 会合が並行して開催されました。

全体会合である Plenary 会合では、各 SDO がそれぞれの業務状況や戦略について意見を交換し、一層のタイトな協力と協調が重要であるという認識を共有しました。

また、今回 ITU-R/T の局長を会合に招待し、今後の具体的な協力について SDO の代表と話し合うこととしていましたが、両局長の来日の都合がつかなかったため、電子会議を実施しました。電子会議では、今後 5G や M2M/IoT を主要課題にして協調を図っていくこととなりました。

IMT WG 会合では、今年 6 月に開催される ITU-R WP5D 第 22 回会合に向けた対応に関して情報・意見交換を実施するとともに、今後 WP5D で検討が活発化される 5G の検討の進め方について議論をおこないました。

WPT WG 会合では、Technical Report-3 を完成させ、全体会合で承認されました。本レポートは ITU-R SG1 WP1A へ入力される予定です。

次回、第 15 回日中韓情報通信標準化会議(CJK-15)は、2016 年夏に CCSA のホストにより 西寧(Xining)で開催予定であると表明がありました。

本会合に合わせて、ARIB 20 周年・TTC30 周年記念祝賀パーティーを開催し、北東アジア地域の核となる日中韓の標準化団体が、緊密な連携の下、国際標準化を目指すべきと決意を新たにしました。

*CCSA: China Communications Standards Association

*TTA: Telecommunications Technology Association

*TTC: The Telecommunications Technology Committee 情報通信技術委員会(日本)

中国通信標準化協会(中国)電気通信技術協会(韓国)

IMT: International Mobile Telecommunication WPT: Wireless Power Transmission/Transfer



CJK-14 全体会合の様子



CJK-14 会合参加者



祝賀パーティーにおける CCSA からの記念品贈呈



祝賀パーティーにおける TTA からの記念品贈呈

今週の ARIB 内会合(5月18日~5月22日)

5月18日(月) デジタル放送システム開発部会 主任会議

5月18日(月) 高度無線通信研究委員会 標準化部会

5月19日(火) スタジオ設備開発部会

5月19日(火) 高度無線通信研究委員会 総会

5月20日(水) スタジオ設備開発部会 デジタル字幕制作検討作業班

5月20日(水) 第228回技術委員会(放送分野)

5月21日(木) 第51回デジタル放送普及活動作業班(DiBEG)

5月21日(木) 第217回業務委員会

今週の国際会合(5月18日~5月22日)

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ [

平成 18 年総務省告示第 659 号 (別に定める特定小電力無線局の無線設備の占有周波数帯幅の許容値を定める件)の 一部を改正する告示案に対する意見募集 - 「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち 「76GHz 帯小電力ミリ波レーダーの高度化に関する技術的条件」-

【平成27年5月8日発表】

総務省は、76GHz 帯小電力ミリ波レーダーの高度化に向けた制度整備を行うため、平成 18 年総務省告示第 659 号 (別に定める特定小電力無線局の無線設備の占有周波数帯幅の許容値を定める件) の一部を改正する告示案を作成しました。

本改正案について、平成 27 年 5 月 9 日 (土) から 6 月 8 日 (月) までの間、意見募集を行っています。

詳細については【平成27年5月8日の総務省報道資料】をご覧ください。

会員だより〔

技研公開2015 究極のテレビへ、カウントダウン 日本放送協会

NHK 放送技術研究所(技研)では、下記の日程で一般公開し、最新の研究成果 26 項目をご紹介します。

一記一

○開催日時:

2015年5月28日(木)~5月31日(日)

午前 10:00~午後 5:00

終了の30分前までにご入場ください。



○主な展示:

- 2016 年試験放送開始に向けた番組制作から受信までの 8K 技術
- 8Kの世界をさらに進化させる最新技術
- めがねなし立体テレビを実現する技術
- インターネットを活用した新たな放送技術
- 字幕や手話サービス拡充など目指した人にやさしい放送技術
- 高度な番組制作を効率的に実現する技術

など

2016年の試験放送開始を目指す「8Kスーパーハイビジョン」の衛星放送実験を世界で初めて公開し、放送局から家庭での受信までトータルの流れをご覧いただきます。

さらに、インターネットを活用した新たな放送技術として、テレビやモバイル端末等の種別を選ばずに、VODなどネット経由の動画を視聴できる技術や、「ハイブリッドキャスト」をさらに進化させ、ネット経由で受信したコンテンツと放送番組を同じテレビの画面内でタイミングを合わせて表示する技術などを展示します。

また、技術の詳細を解説する講演・研究発表・ポスター展示や、ご家族連れにもお楽しみいただけるイベントなども用意しております。

詳しい情報はNHKの技研ホーム―ページをご覧ください。

http://www.nhk.or.jp/strl/open2015/

編集後記(

我が家の周辺を散歩しますと、目に入る目立つ色彩が桜等のピンクや菜の花の黄色から新緑の黄緑に変わってきました。一方で、耳に入る音はといえば、2月、3月頃から変わらずウグイスの鳴声が聞こえてきます。ところで、最近、ウグイスの鳴声について面白い報道がありましたが、ご覧になりましたでしょうか。それは、独立行政法人国立科学博物館の濱尾章二動物研究部グループ長による研究発表で、プレスリリースによりますと「約80年前ハワイに持ち込まれた日本のウグイスは、日本(本土)のものよりも単純なさえずりをしていることがわかった。」、「これは、日本の島嶼にすむウグイスと同じ傾向であり、言わば『島の方言』。」、更に、「学習によって身につくさえずりは短時間で変化(進化)することを、人為的移入を利用して明らかにした。」のだそうです。そして、その現象の解説として、複雑なさえずりは繁殖期に雄間のなわばり競争や雌へのアピールに有利に働くが、競争がゆるやかな環境ではさえずりが単純化していくのだと説明されていました。「プレッシャーが弱いとすぐにサボりたがる。」と言うことのようで、耳が痛く、笑ってしまいました。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS 発 行 所 一般社団法人 電波産業会

●100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階 TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103 http://www.arib.or.jp E-mail arib_news@arib.or.jp